

養豚国際フォーラム2014 開催要項

- 日時 2014年6月19日(木) 午後1時半～午後6時(受付12時半～)
6月20日(金) 午前9時～午後5時半
※懇親会 6月19日午後6時半～
- 場所 東京・砂防会館
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 TEL 03-3261-8386
地下鉄 永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口 徒歩1分
- 参加費 1人 36,000円(税込・2日間受講料、2日目昼食代を含む)
ただし、同一法人・同一農場の2人目以降は同伴割引で1人16,000円(税込・生産者のみ)
※懇親会参加費 1人 6,000円(税込)
特別枠 学生参加費 1人 3,000円(懇親会費共・税込)
- 申し込み締め切り 6月11日(月) ※ただし、会場が満員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。
- 申し込み方法 申込用紙に、必要事項をすべてご記入の上、FAXでアニマル・メディア社までお送りください。
折り返し、参加費の請求書および事前振込のご案内を送付させていただきます。
※宿泊をご希望の方は、申込書に○印をお付けください。
※お申し込みいただいた方には、プログラムの詳細等、決まり次第お知らせ致します。
- 企画・主催 (問い合わせ先)
株式会社アニマル・メディア社(岩田)
〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-5 TEL 03-3818-8501 FAX 03-3818-8502
(有)ベネット(中村)
〒164-0001 東京都中野区中野5-32-4 TEL 03-5913-2627 FAX 03-5913-2628



FAX 03-3818-8502 養豚国際フォーラム2014申込書

農場・会社名(部署名) _____

参加者氏名(複数の場合は連絡用代表者名) _____

住所(〒 _____) _____

電話 _____ FAX _____

_____ メール _____

申し込み内容

下記の表に人数分すべてご記入ください。足りない場合はコピーして2枚目と明記し、ご返送くださいますようお願いいたします。
懇親会は、ご希望の項目を○で囲んでください

	①		②		③		④	
参加者名								
農場・会社名								
懇親会	参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加

※宿泊につきましては各自でお取りください。

その他連絡事項 _____

養豚国際フォーラム2014

望まれ夢を語る 養豚への第一歩

—ひっ迫する世界の食料事情と地域に根差す養豚の存在意義—

- 日時 2014年6月19日(木)、20日(金)
- 会場 東京・砂防会館 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 TEL 03-3261-8386
(地下鉄 永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口 徒歩1分)
- 参加費 1人 36,000円(税込)
同伴割引 1人16,000円(税込。生産者に限り、同一法人の2人目以降に適用)



「養豚産業を左右する地球規模の食料・飼料事情」

……講師 柴田明夫氏(資源・食糧問題研究所代表 元・丸紅経済研究所代表)

「夢見るだけでは実現しない“カッコいい養豚”」

……講師 林 邦雄氏(株式会社林牧場 代表取締役)

「量販と一線画す“安心”を商品化する流通の現場から」

……講師 親跡博史氏(らでいっしゅぼーや(株) 執行役員・品質管理部長)



「養豚立地の足下に存在する“金の鉱脈”を探れ！」

……講師 藻谷浩介氏(株式会社日本総合研究所 調査部主任研究員)

「小規模複合経営の養豚に勝機あり！」

……講師 五十嵐一春氏(山形県鶴岡市・五十嵐ファーム)

「150頭一貫“無薬”にこだわり続けて得た信頼」

……講師 江原正治氏(群馬県高崎市・(有)江原養豚)

「養豚と獣医療の密なる連携で目指す生産性アップ」

……講師 石川弘道氏 & 大竹 聡氏
(有)サミットベテリナリーサービス (株)スワイン・エクステンション&コンサルティング)



種豚、豚舎設備、AI関連資材、機能性飼料、動物用医薬品、環境関連資材など、最新の養豚資材を多数展示(昨年実績:22社34コマ)。デンマークからも種豚・混合飼料・機材の出展予定!
※ブース出展をご希望の会社は、下記にお問い合わせください。

【前回出展企業】(株)あぐりーん、イワタニ・ケンポロー(株)、オルテック・ジャパン(合)、(株)科学飼料研究所、(株)協同インターナショナル、グローバルビッグファーム(株)、コーキン化学(株)、全農畜産サービス(株)、中部エコテック(株)、(株)中嶋製作所、日本農産工業(株)、(株)ファームテック、日本養豚事業協同組合、TOPIGS(株)日の出産、ハムレットプロテイン、(株)ピアインシ・バイオ、(株)ピーティエヌ、ゾエティス・ジャパン(株)、(農)富士農場サービス、バーリンガー・インゲルハイム・ベトメディカ・ジャパン(株)、ミヤリサン製薬(株)、メリアル・ジャパン(株)、ヨシモトボール(株)、(株)ワイビーテック

主催 (株)ビッグフォーラム22
(株)アニマル・メディア社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-5 TEL 03-3818-8501
(有)ベネット 〒164-0001 東京都中野区中野5-32-4 TEL 03-5913-2627

望まれ夢を語れる 養豚への第一歩

—ひっ迫する世界の食料事情と地域に根差す養豚の存在意義—

養豚国際フォーラム2014 タイムテーブル

●6月19日(木) 12:30 受付・ブース展示開始
13:30 講演開始
18:30 懇親会開始

●6月20日(金) 9:10 企業セミナー
9:30 ブース展示開始
10:00 講演開始
17:00 終了

TPPのおかげで、“関税撤廃”による産業へのダメージばかりが強調されていますが、実際には、豚肉の国際相場の上昇と円安の影響により、関税以上に輸入抑制が効いているのが現状です。地球規模の当面の食料事情を考えたとき、飼料や、畜産物の価格の高止まり傾向は慢性化すると予測され、その場合、国産豚肉と輸入豚肉が価格のみで競合する関係ではなくなります。生産性改善の努力は緩めることなく、地域で不可欠の役割を担い、社会に貢献する楽しい職業としての地位を確立することが、養豚産業が持続的に発展するうえで必要不可欠です。そんな夢ある産業への再生を目指すための課題とヒントをもち帰っていただきたいと考えています。



東京・砂防会館
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 TEL 03-3261-8386

◇養豚国際フォーラム2014タイムテーブル

時間	6月19日(木)		6月20日(金)	
	メイン会場	展示会場	メイン会場	3階会議室
9:00				
9:30				企業セミナー
10:00		資料展示		
10:30			藻谷浩介	
11:00				
11:30				
12:00				
12:30	受付開始			昼食・休憩
13:00				
13:30	柴田明夫			五十嵐一春 江原正治
14:00				大竹 聡
14:30				休憩
15:00	林 邦雄		石川弘道	
15:30	休憩			
16:00	親跡博史		総括討論	
16:30				
17:00	質疑応答			
17:30				
18:00				
18:30	懇親会			
19:00				
19:30				

※2日目の9:10~9:50は協賛企業の提供によるモーニングセミナーを開催します。
初日にプログラム発表。主催企業のブースで登録のうえ受講してください(定員あり)。

前回のブース展示模様



プログラム

◆ ゲストスピーカー講演① 13:30~15:00

「養豚産業を左右する地球規模の食料・飼料事情」

……講師 柴田明夫 氏(資源・食糧問題研究所代表 元・丸紅経済研究所代表)

丸紅のシンクタンクで長年にわたって世界の穀物事情をウォッチしてきた経歴を背景に2011年に独立。今年1月、「中国のブタが世界を動かす 食の「資源戦争」最前線」を毎日新聞社から上梓して注目を集めている。増え続ける人口に対して限られた耕地と資源の争奪、世界的な畜産物の生産コストアップが見込まれるなかで、国産豚肉の競争力はどうか、そして飼料用米の可能性とその影響について聞く。

◆ 基調講演① 15:00~16:00

「夢見るだけでは実現しない“カッコいい養豚”」

……講師 林 邦雄 氏(株式会社 代表取締役)

自身が経営に入ったとき(1974年)に母豚100頭の規模だった農場を、約40年で100倍、1万頭規模にまで拡大した。“夢見る経営者”は経営継承を目前にしてなお健在。失敗を繰り返しながら、夢を現実にする自己啓発の思考パターンを磨き、実践し続けてきた。休みのとれる作業形態、恋人に自慢できるきれいな農場、利益を生み出す農場のランドデザイン……、人材に恵まれ高い収益性を維持する秘訣を聞く。

◆ 基調講演② 16:30~17:30

「量販と一線画す“安心”を商品化する流通の現場から」

……講師 親跡博史 氏(らでいっしゅぼーや(株) 執行役員・品質管理部長)

量と価格を追求せざるを得ない食肉バイヤーの経歴をもちながら、今は対極的な形で食肉をはじめ農畜産物・食材の供給に携わっている。そこでのキーワードは「安心とおいしさ」。契約先の農家とは、独自の商品取扱基準に基づいたパートナーシップを築き、“安全”を求める究極の消費者ニーズに対応する。幅広い流通現場の経験を基に、豚肉をめぐるマーケットの多様性と、生産者の目指す方向についての助言を聞く。

● 懇親会 18:30~20:30

◆ 企業モーニングセミナー 9:10~9:50

◆ ゲストスピーカー講演② 10:00~12:00

「養豚立地の足下に存在する“金の鉱脈”を探れ!!」

……講師 藻谷浩介 氏(株式会社 調査部主任研究員)

昨年の養豚国際フォーラム2014で「未来の確定値」に基づく豚肉のマーケット考察」というタイトルの基調講演で、「人口動態」という極めて確度が高く、かつ重要な市場決定要因に基づくマーケティングへの意識づけをしていただいた。今年はその応用編として、養豚が地域に不可欠の産業として基盤構築する可能性を、「里山資本主義」(角川ONEテーマ21より2013年上梓)の実践理論に基づき指摘いただく。

◆ 特別講演① 13:30~14:00

「小規模複合経営の養豚に勝機あり!!」

……講師 五十嵐一春 氏(山形県鶴岡市・五十嵐ファーム)

養豚は100頭一貫の規模ながら、稲・畑との複合経営を積極的に展開。経営リスクを分散しながらも、生産性向上につながる飼養管理技術や財務管理のノウハウは貪欲に取り入れて、コスト削減で収益拡大を図る。小規模家族養豚でどこまで生産効率を改善できるのか。地域の耕種農家とのつながりをどのように生かすのか。そして、流通業者・消費者との関係を構築しながら自農場ブランドの確立をどのように目指しているかを聞く。

◆ 特別講演② 14:00~14:30

「150頭一貫“無薬”にこだわり続けて得た信頼」

……講師 江原正治 氏(群馬県高崎市・(有)江原養豚)

父親の代には天皇杯、自身も環境対策が評価されて農水大臣賞を受賞した母豚150頭の一貫経営。平成12年に飼料メーカーのサポートを受けながら“無投薬養豚”の取組を開始した。同じ取組を目指した生産者のほとんどが、生産性の低下などから脱落するなか、夫婦二人三脚、まさに苦節15年、ようやく安定的な生産を確立して、完全無薬の豚肉の供給を通じた経営を軌道にのせた。“付加価値とは何か?”を聞く。

◆ 特別講演③ 14:30~16:30

「養豚と獣医療の密なる連携で目指す生産性アップ」

……講師 石川弘道 氏 & 大竹 聡 氏

(有)サミットベテリナリーサービス(株)スワイン・エクステンション&コンサルティング)

大竹氏には、米国で養豚獣医療に密接に関わった経験を基に、①新型インフルエンザ問題、②PRRSやPED対策、③アニマルウェルフェア対応、養豚獣医療に関する重要課題に対し、米国の養豚生産者団体(NPPC等)と養豚獣医師の団体(AASV等)、大学などがどのように連携と役割分担して有益な情報を迅速に生産現場、消費者に向けて発信してきたかをレポートしてもらう。

家保・病鑑職員を経て開業、20年にわたり養豚獣医療に従事してきた石川氏には、大竹氏の米国レポートを踏まえて日本の養豚と養豚獣医療の新たな関係構築の方向性を示していただく。輸入豚肉との競合の激化が予測されるなか、疾病・衛生問題をめぐる諸問題は、国産豚肉の最大の武器である“消費者の信頼”を左右する。そうした課題に直面し、克服していかなくて、いかに養豚獣医師が積極的に関与していけるのか? いくべきなのか?

● 総括ディスカッション 16:30~17:30